12 月紹介する本

- ・『まなの本棚』・女優、芦田愛菜が著作者です。どんな本があるのでしょうね。
- ・『書店員は見た!』・本屋さんで起こる小さなドラマ、本屋さんに行きたくなる本
- ・『恥をかくのが怖いから解放される本』・自己肯定感を高めて、自分らしく生きる
- ・『親子の意味』・「親の呪縛」から自由になる方法、断ち切るのは貴方その指南書
- ・『恋愛ってなんだろう?』・恋愛や結婚のルールって、誰が決めたの?
- ・『私の人生論』・大切なのは、その人の心や魂を見ること。恐れず人と向き合う。
- 『どんマイナー武将伝説』 ・ 歴史の狭間で光輝く英雄から地元で愛される偉人まで
- ・『わが投資術』・個人資産800億円超。長者番付1位となった伝説のサラリーマン
- 『地下鉄で隣に黒人が座ったら』 ・ 異文化との出会いは自分の限界を発見する
- ・『ケアマネジャーになるには』・利用者の生活の安心と充実をサポートすること
- ・『赤と青のガウン オックスフォード留学記』・女性皇族による英国留学記
- ・『読解力を10日で上げる方法』・マンガでわかる!中学受験国語カリスマ講師直伝
- ・『熱中症からいのちを守る』・これ以上涼しくなることのない未来に備えて予防法
- ・『身体が「ノー」と言うとき』・抑圧された感情の代価。自身の身体の悲鳴を聞け
- ・『みさえの愛情たっぷり手ぬきレシピ』・コスパ抜群で美味しいし簡単レシピ!
- ・『毎日おみそ汁365日』・シンプル定番から食べるおかず系・ごちそうの一杯まで
- ・『毎日おにぎり365日』・冷蔵庫にあるものから探して作れて、きちんとおいしい
- ・『美しいトマトの科学図鑑』・東京大学の農場で野菜や果実を育てています
- ・『日本史を支えてきた和紙の話』・日本は古来、「紙」の国だった和紙の国物語
- ・『ネコがくれたしあわせの約束』・小笠原諸島で起きたノネコ保護活動を考える
- ・『愛玩動物看護士になるには』・動物医療に欠かせない看護のスペシャリスト
- ・『労働系女子マンガ論!』・労働をめぐる女子の悩みの数だけ、応答を試みる マンガが存在する
- ・『松本梨香エッセイ ラフ&ピース』・松本梨香の笑顔の秘訣をづづった初エッセイ
- ・『蜂の奇妙な生物学』・私たち人間はいなくても蜂がいないと地球の生態系は歪む
- ・『虫めづる美術家たち』・虫好きの虫好きによる虫好きのための美術作品集
- ・『糖質疲労 疲れやすさと老化の正体』・食後の眠気は病気の始まり食べ方を教える
- ・『片づけ脳』・片づけられないのは脳のせいだが、脳科学で片づけられるようになる。だが、読むのがおっくうでは、何も変わらない!
- ・『いばらない生き方 テレビタレントの仕事術』・荒波で学んだ人間性から学ぼう
- ・『秘密のハーバード作文』・作文がうまいを超え、能力がある人になっていく
- ・『秘密の花園』江戸随一の戯作者曲亭馬琴「八犬伝」を生んだ劇的人生とは!
- ・『傷だらけの光源氏』・紫式部が本当に描きたかったのは、自らの人生を生きる女性だっだ
- ・『松籟邸の隣人』・吉田家の別荘の謎の隣人・天人と吉田茂少年が怪事件に挑む
- ・『ある行旅死亡人の物語』・身元不明の女性が3400万円を残して孤独死をした